

様式 1

令和 4 年度富谷市立明石台小学校 学校関係者評価書

令和 5 年 1 月 2 4 日
学校関係者評価委員会

氏 名

氏 名

氏 名

氏 名

1 総評

(1) 本校の今年度の重点目標とその取組状況について

- ・ コロナ禍が続く中、地域や家庭への情報の共有の難しさを感じた。HP等での発信が以前より多くなっているが、あまり周知されていない気がする。
- ・ 学習面が常に高レベルにあることは児童、保護者の努力のみならず教師の指導の賜である。
- ・ 地域も学校との関わりを望んでいると思う。どのような活動ができるのか考えていきたい。
- ・ 子供たちがコロナ禍でコミュニケーションを取らないことに慣れてしまっていることで挨拶する子が少なかったり挨拶に元気がなかったりするのではないか。コミュニケーションの重要性を改めて感じた。

(2) 成果について

- ・ 1年生からタブレットを上手に使いこなしていて感心した。
- ・ 昨年より活発に話し合いができているクラスも見られ、各教室に明るさを感じた。
- ・ 子どもの良い点を付箋に書き出しているクラスがあり、良い取り組みだと思った。直接のコミュニケーションを取ることが難しい中、とても工夫されていると感じた。

(3) 課題や改善を要する事項について

- ・ 情報発信や学校の取組が保護者から評価されていない面がある。ミニ説明会（学校の取組を説明するための小規模な説明会）などをしてはどうか。
- ・ コロナ禍で保護者が学校に行ったついでに話す機会がない。学校の様子が見えていないことが不信感につながり、何もできていない批判につながる。小規模でもよいので保護者と接触する機会を作れば払拭されるのではないか。
- ・ 「基礎・基本の定着」「分かる授業の構築」については保護者と学校の認識の差が大きい。学力向上に力を入れてほしいという保護者が多い地域ならではの差なのかもしれないが、その差を埋めることが保護者の理解につながると思う。
- ・ 子供たちのためにコロナ流行状況が落ち着き、楽しく食べられる給食の時間が戻ってきてほしい。

2 各領域等の評価

領域	評価の観点	評価	意見・改善案等
学校運営	1 開かれた学校づくり	B	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の中難しい面もあるが、小さなことでも学校家庭地域の出会いの場を作っていくとギャップの解消につながるのではないかと。 ・学力が高いのに自己肯定感が低いことが気になる。 ・コロナ禍の中でも工夫して学校の情報発信をしていると感じた。
	2 魅力ある学校	B	
	3 施設・設備	A	
	4 安全管理	B	
	5 教職員の資質の向上	A	
	6 特色ある教育活動等	B	
教育課程	1 確かな学力	A	<ul style="list-style-type: none"> ・教室に掲示されている子供たちの習字はおしなべて力強く形も整っている印象である。 ・安全面、しつけ、生活習慣の面でのさらなる改善を望みたい。 ・小学校の時の経験は後々の人生に大きな影響力を持つことに留意してほしい。
	2 豊かな心身	B	
	3 特別活動	B	
	4 生徒指導・教育相談	A	
	5 特色ある教育活動等	B	
課題教育	1 環境教育	A	<ul style="list-style-type: none"> ・タブレットを使いこなしているからこそ低学年でのインターネット利用のマナーをしっかり定着させて、ネットいじめ防止をしてほしいと感じた。 ・学力向上に積極的に取り組んでいる様子が感じられる。 ・児童の自己肯定感を高める工夫がほしい。
	2 情報教育	A	
	3 特別支援教育	A	
	4 図書館教育	B	
	5 健康教育	A	
	6 特色ある教育活動等	B	
地域との連携について		B	<ul style="list-style-type: none"> ・学校、家庭、地域の連携はコロナ禍の中で困難ではあるが、そこが追い求めていくべき点である。 ・給食等の制限もあり、人・友達・地域との関係が絶たれている。そのときにしかできない経験が絶たれているため大人のフォローが必要だと思う。
いじめ問題への取り組み		A	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめは早期対応が重要。その点が共通認識されていると感じた。 ・開かれた学校、相談しやすい学校にするために改善してほしい。